

第5次中期経営計画説明会

 丸一鋼管株式会社

会長 鈴木博之

目次

- | | | | |
|-----|---------------------|---|------|
| I | 第4次中期経営計画の成果と反省 | … | P.2 |
| II | 第5次中期経営計画の概要 | … | P.15 |
| III | (参考)当社グループを取り巻く経営環境 | … | P.34 |

2018年3月28日

I 第4次中期経営計画の 成果と反省

I-1 第4次中期経営計画の目標と実績

	第3次中期経営計画 最終年度	実績			目標達成	第4次中期経営計画 最終年度
	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 予想		2017年度 目標
売上高 (億円)	1,527	1,449	1,372	1,534		1,850
営業利益 (億円)	177	170	245	196		225
営業利益率	11.6%	11.7%	17.8%	12.8%		12%
ROE	3.9%	4.7%	7.4%	5.7%		6.5%以上
株主還元率 (3年平均)	52.2% (3年平均)	255.2%	49.6%	48.6%		70%以上 (3年平均)
		81.6% (3年平均)				
社会への利益還元 (3年平均)	1,400万円 (3年平均)	2,100万円	2,200万円	2,350万円		2,100万円 (3年平均)
		2,216万円 (3年平均)				

国内/海外別計画と実績比較

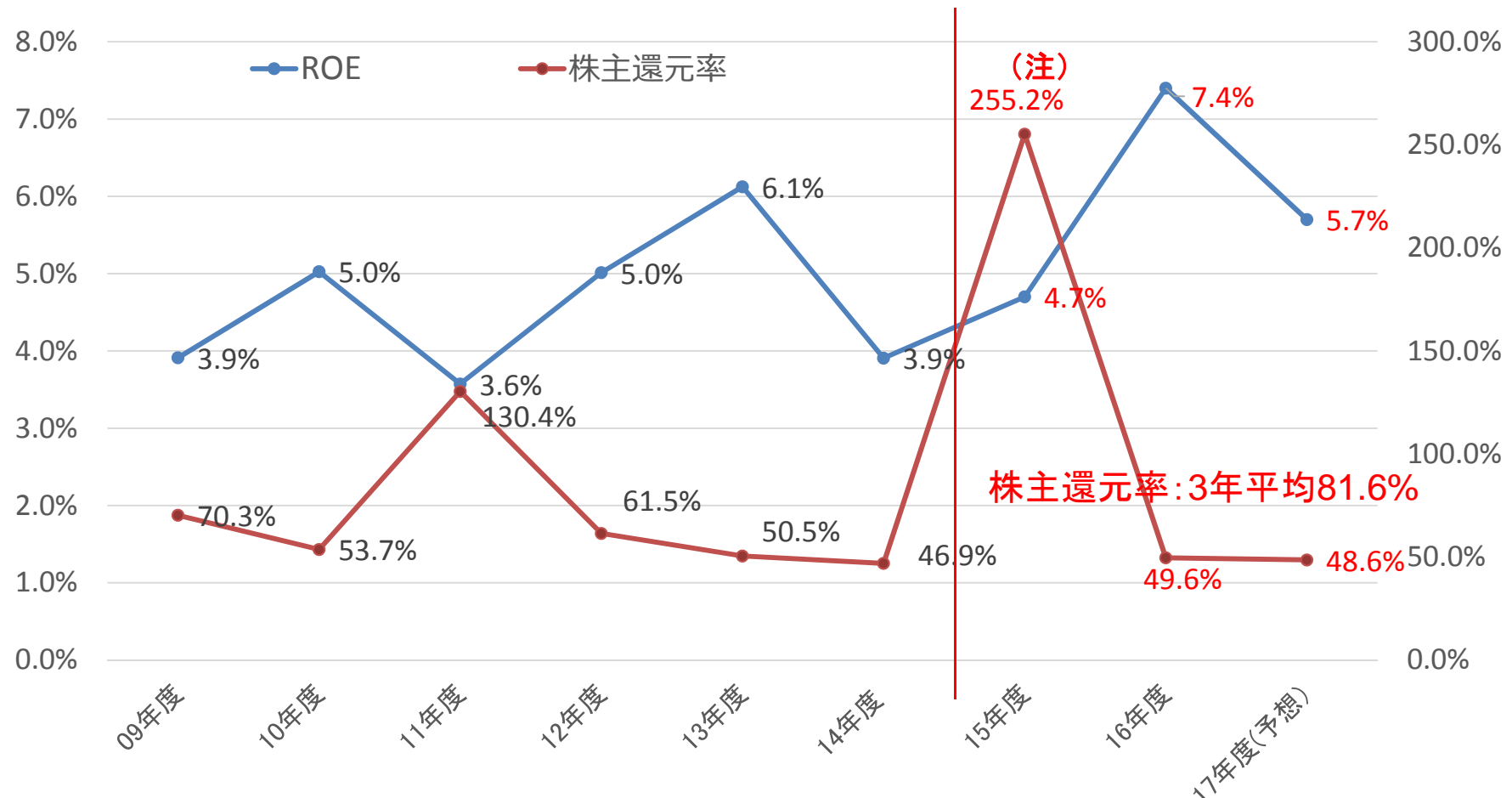
(億円)	2015年度		2016年度		2017年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高合計	1,742	1,450	1,805	1,372	1,850	1,534
国内	1,035	914	1,073	887	1,085	963
海外	707	536	732	485	765	571
(米国)	(361)	(258)	(367)	(224)	(396)	(266)
(アジア)	(346)	(277)	(365)	(261)	(369)	(305)
営業利益合計	205	170	219	245	225	196
国内	180	173	186	197	191	166
海外	25	-3	33	48	34	30
(米国)	(11)	-(10)	(17)	(22)	(17)	(20)
(アジア)	(14)	(6)	(16)	(26)	(17)	(10)
営業利益率	11.8%	11.7%	11.8%	17.9%	12.2%	12.8%
国内	17.4%	18.8%	17.3%	22.2%	17.6%	17.2%
海外	3.5%	-0.6%	4.5%	9.9%	4.5%	5.3%
為替レート	115	121.05	115	108.84	115	112.37

- ①売上高: 販売数量の計画未達と鉄鋼価格の大幅下落により大きく未達
- ②営業利益: 2016年度に国内外とも目標を達成したが、15、17年度は未達
- ③営業利益率: 海外収益率の改善により16、17年度は目標達成
- ④ROE: 16年度は7.4%と目標達成したが、17年度は減益のため5.7%に終わる
- ⑤株主還元率及び社会貢献目標を達成

資本政策目標と進捗状況

第4次中期経営計画最終年度（2017年度）目標

3年間平均の株主還元率平均 → 70%以上、2017年度 ROE → 6.5%以上



(注) 2015年度: 200万株の自社株買い実施と保有有価証券の減損による純利益の減少により株主還元率が255%へ

I-2 成果と反省

1) 国内での成果

- ①生産効率化及び丸一鋼販の営業拠点強化の為の設備投資の実施
(投資総額:125億円)
- ②大阪工場の堺工場への集約を完了(2016年3月)

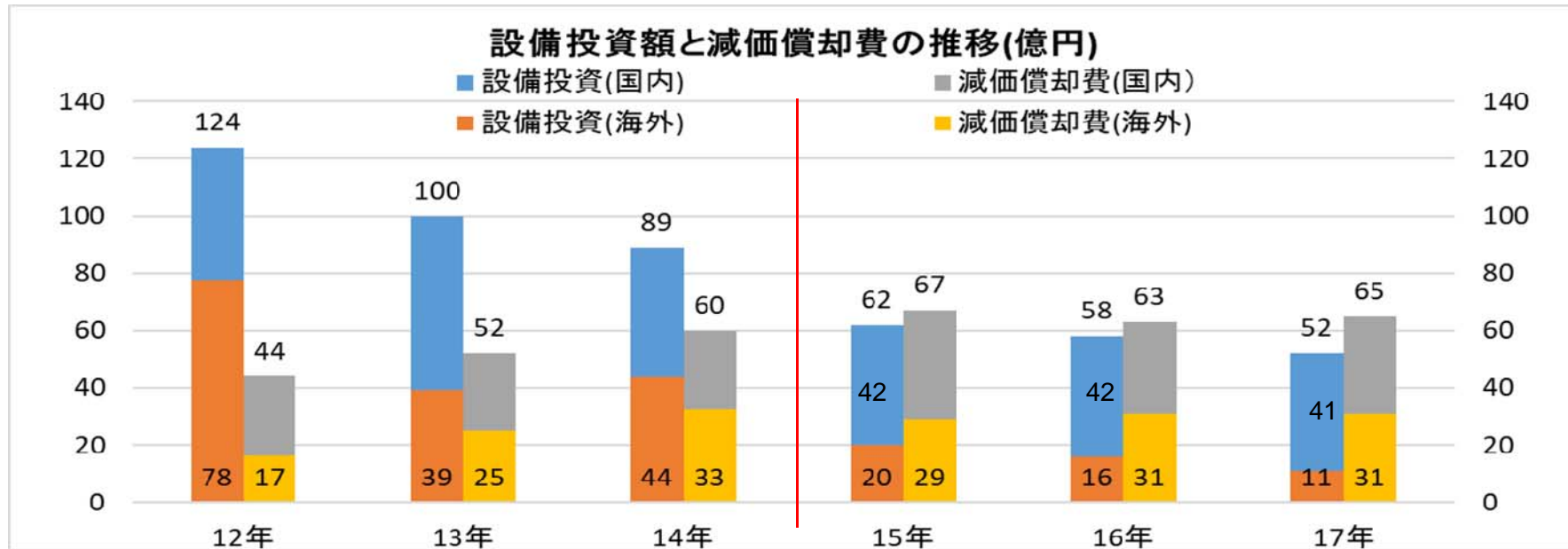
2) 海外での成果と反省

- ①MOST社の稼働による米国北部西海岸/カナダでの営業開始
- ②Leavitt社は米国鉄鋼市況の回復もあり、黒字基調定着
- ③米国3社の設備更新、ラインの新設の実施及び着手決定
- ④SUNSCO(HCM)はベトナム国内での営業力と設備の安定操業に課題あり
黒字定着せず
- ⑤KUMA社のバンガロール工場の稼働、大径管ラインの増設による
販売の大幅な拡大
- ⑥フィリピンMPST社の自動車二輪向け新工場立上げ決定

3) 資本政策と社会貢献

- ①高配当の実施、株主還元率目標の達成
- ②国内外での、教育・文化・スポーツ・医療等の分野で社会貢献を実施

設備投資実績：国内：125億、海外：47億円



第4次中期計画期間中の主な設備投資実績

国内

- 丸一鋼販 横浜営業所 移転 : 19億円
- 堺工場 1号機・埠頭改修 : 15億円
- 四国丸一 太陽光発電設備 : 6.5億円
- 東京工場 1号機更新 : 5億円
- 丸一鋼販 北陸営業所 移転 : 12億円
- 東京工場寸法切り工場新設 : 3.5億円

海外

- MMX 第二工場 : 8億円
- MAC 設備更新 : 6億円
- KUMA 4インチミル : 2億円
- SUNSCO 2インチミル : 2億円

国内での設備投資

- 2015年10月 丸一鋼販横浜営業所移転
- 2016年 3月 大阪工場の堺工場への集約完了
- 2016年 4月 四国工場太陽光発電設備 売電開始
- 2016年 8月 東京工場 1号機の更新工事完了
- 2017年 8月 詫間工場めっきライン更新工事完了
(2015年より工期を3回に分けて推進)
- 2017年11月 丸一鋼販北陸営業所移転
(第4次中期経営計画期間中に新たに計画を追加。11月13日より営業開始)
- 2018年 1月 堺工場1号機更新工事完了
(ミル、切断機、面取機)
(2015年より工期を3回に分けて推進)
- 2018年 1月 堺工場 No.1スリッター更新工事完了

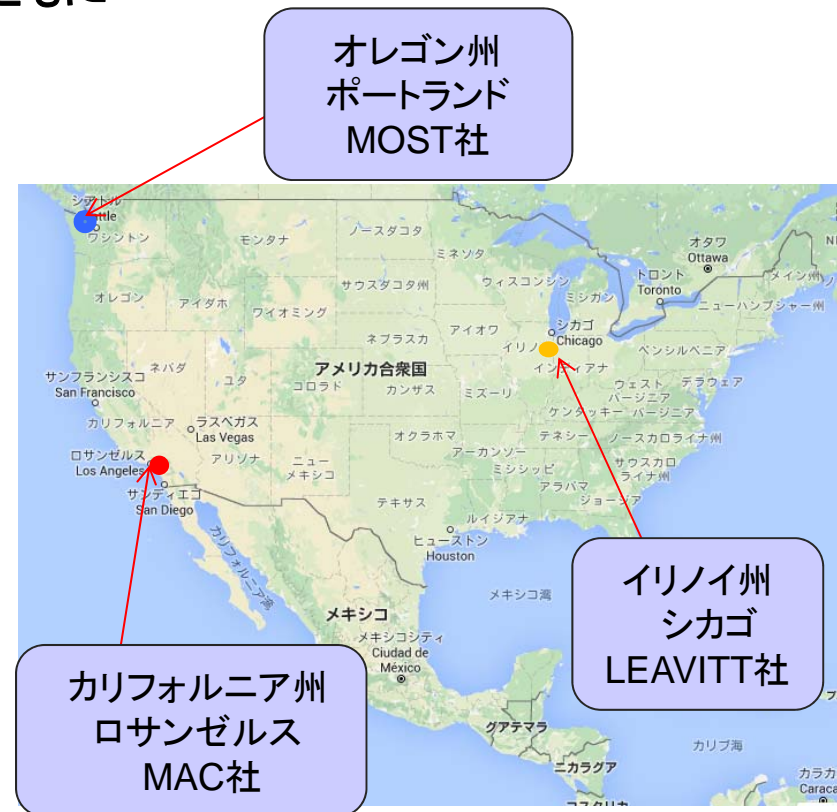


米国MOST社 米国西海岸及びカナダでの販売拡大

- 2015年3月 Evraz NA INC. より構造用鋼管部門を買収
- MAC社(ロサンゼルス)とLeavitt社(シカゴ)とともに米国での「需要地生産体制」をさらに充実し米国・カナダでの事業を拡大



MOST社



ベトナムSUNSCO(HCM):黒字化定着せず

- ①2016年度:鉄鋼市況の回復で大幅黒字を計上するも、2017年度は赤字計上
- ②輸出市場(米国、インドネシア、タイ、マレーシア等)の保護貿易主義による影響や、ベトナム国内営業力と設備の安定操業に課題あり、黒字化が定着せず
⇒次期中期計画の課題



業績の推移(含HANOI)

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2012年12月	161	▲ 3
2013年12月	205	2
2014年12月	256	▲ 2
2015年12月	196	5
2016年12月 実績	202	17
2017年12月 予想	226	▲ 1
第4次中期計画(2017年12月) 目標	277	5

メキシコMMX社 自動車二輪車関連での必要な投資の継続

- 2015年2月 第2工場 稼働開始
- 2017年8月 隣地: 10,000m²を購入
切断工場を建設予定



購入土地

インドKUMA社 自動車二輪車関連での必要な投資の継続

- ・2015年6月 バンガロール工場稼働
- ・2017年2月 大径管用4インチミル稼働



バンガロール工場



2インチミル



大径管用4インチミル

海外生産拠点

: 第4次中計期間に稼働又は進出決定

アジア

- 丸一金属製品(天津) 有限公司(中国)**
- 丸一金属製品 武漢工場(中国)**
- 丸一金属製品(佛山) 有限公司(中国)**
- MPST社 (フィリピン) 2019稼働予定**
- SUNSCO(ハノイ)社 (ベトナム)**
- SUNSCO社 (ベトナム)**
- J-スパイラル社 (ベトナム)**
- ISTW社チカラン工場 (インドネシア)**
- ISTW社ジャカルタ工場 (インドネシア)**
- ISTW社セマラン工場 (インドネシア)**
- KUMA社(インド) Manesar工場**
- KUMA社(インド) Bangalore工場**

米州

- MOST社 (アメリカ)**
- Leavitt社 シカゴ工場 (アメリカ)**
- MAC社 (アメリカ)**
- AMX社 (メキシコ)**
- MARUICHIMEX社 (メキシコ)**

社会貢献

配当実施後の単体純利益の0.5%程度を国内外の地域社会の文化、教育、スポーツ、環境保護活動等に提供

2017年度の主な取組み（●従来より継続 ●新規）

- 第69回正倉院展に協賛（2012年度～）
- 特定非営利活動法人「アジア失明予防の会」を支援（2015年度～）
- 大阪フィルハーモニー協会に協賛（2015年度～）
- 京都大学基金「iPS細胞研究基金」を支援（2015年度～）
- 劇団四季「こころの劇場」に協賛（2015年度～）
- 「平成OSAKA 天の川伝説2017」に協賛（2016年度～）
- 「2025日本万国博覧会誘致委員会」に協賛
2025年国際博覧会の大阪・関西への万博誘致を目指す活動を支援（オフィシャルサポーター）
- **インドBal Niketan 高等学校の学生を支援（KUMA）**
Rajasthan州Pilani地区にある高等学校において、成績、家庭の経済状況等に応じ学校が推薦した生徒200人に年間授業料相当額を奨学金として支給
- **関西観光本部を支援**
関西の産業活性化を目指しオール関西で観光振興に向けた施策を推進する活動を支援
- **おおさか・すいたハウスの移転を支援**
大阪府吹田市にある、国立循環器病センターに入院している子どものご家族のための滞在施設の北大阪健康医療都市（健都）への移転を支援



Ⅱ 第5次中期経営計画の概要

(2018年4月～2020年3月)

Ⅱ-1 当社グループを取り巻く経営環境

- ①国内：景気の大きな落ち込みはないが、
鉄鋼需要の増加は期待できない
- ②海外：米国経済は引き続き堅調を維持し穏やかな成長を持続、
新興国は引き続き高い成長を期待
- ③自動車産業は海外シフトが引き続き続く
EV化への対応準備の開始が必要
- ④鉄鋼価格は、各国の底堅い景気により、大幅な落ち込みはない
- ⑤「収益性の向上」「労働生産性の向上」「人材確保」が
企業の直面する課題
- ⑥為替レートは110円/US\$を想定

Ⅱ-2 第5次中期経営計画の目標

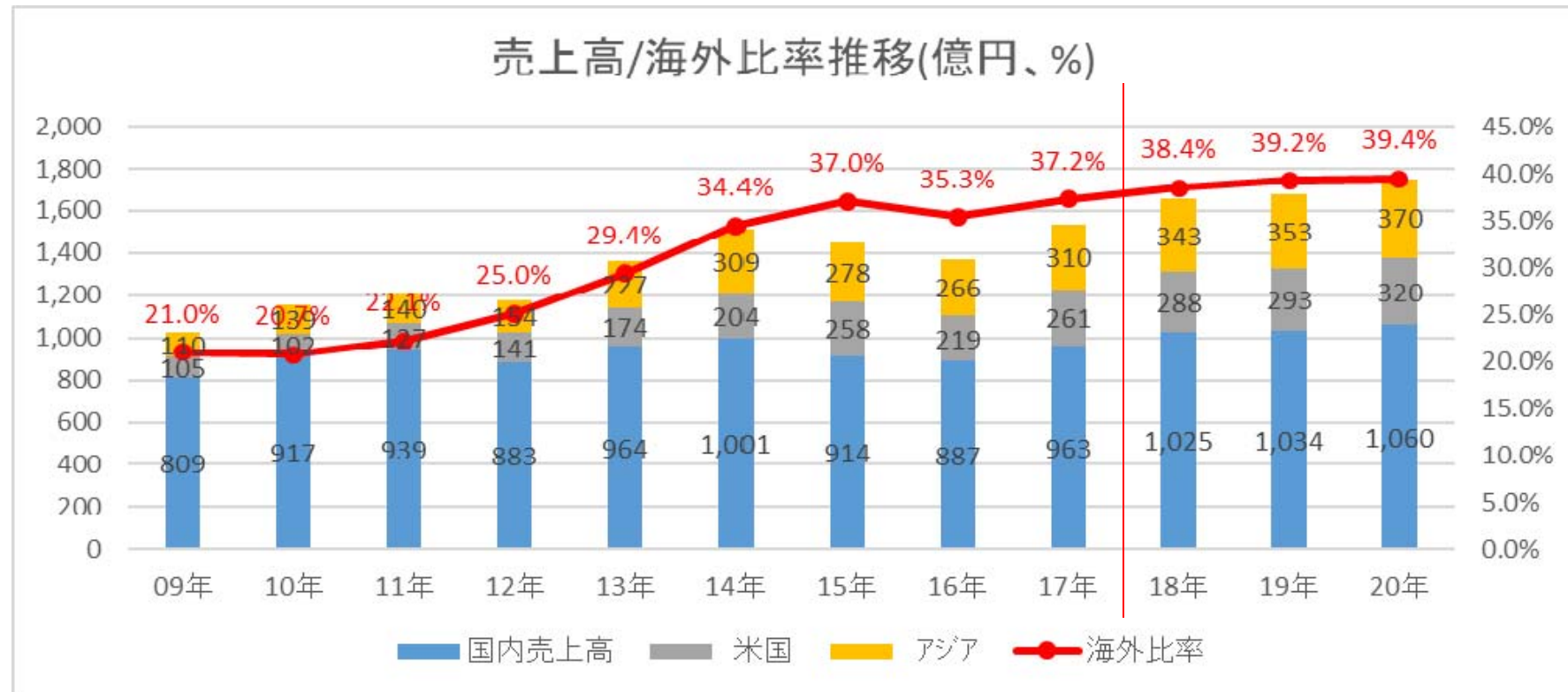
	2017年度(予)	2018年度	2019年度	2020年度目標
売上高 (億円)	1,534	1,645	1,700	1,750
営業利益 (億円)	196	189	196	240
営業利益率	12.8%	11.5%	11.5%	13.7%
ROE	5.7%	5.3%	5.5%	6.5%
株主還元率	49.0%	50.0%	50.0%	50.0%
社会貢献 (百万円)	23.5	30	30	30

連結経営成績予想 セグメント別

【単位 百万円】

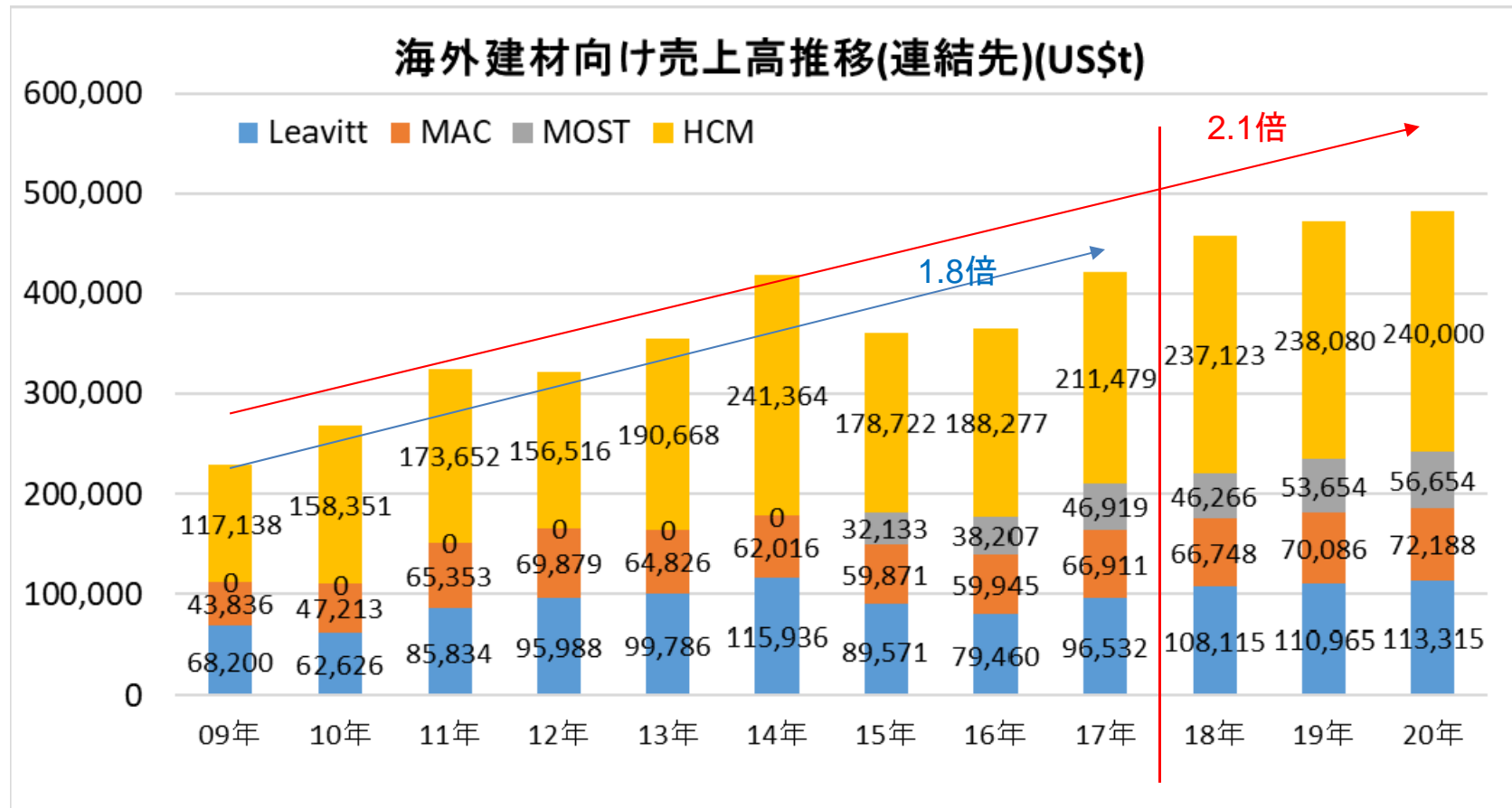
	2018年3月期 予想				第5次中計 2021年3月期 目標			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	96,305	62.8%	16,429	83.8%	106,000	60.6%	18,400	76.7%
北米	26,557	17.3%	1,956	10.0%	32,000	18.3%	2,600	10.8%
アジア	30,538	19.9%	1,215	6.2%	37,000	21.1%	3,000	12.5%
調整額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	153,400	100.0%	19,600	100.0%	175,000	100.0%	24,000	100.0%

売上高目標：2020年度：1750億円

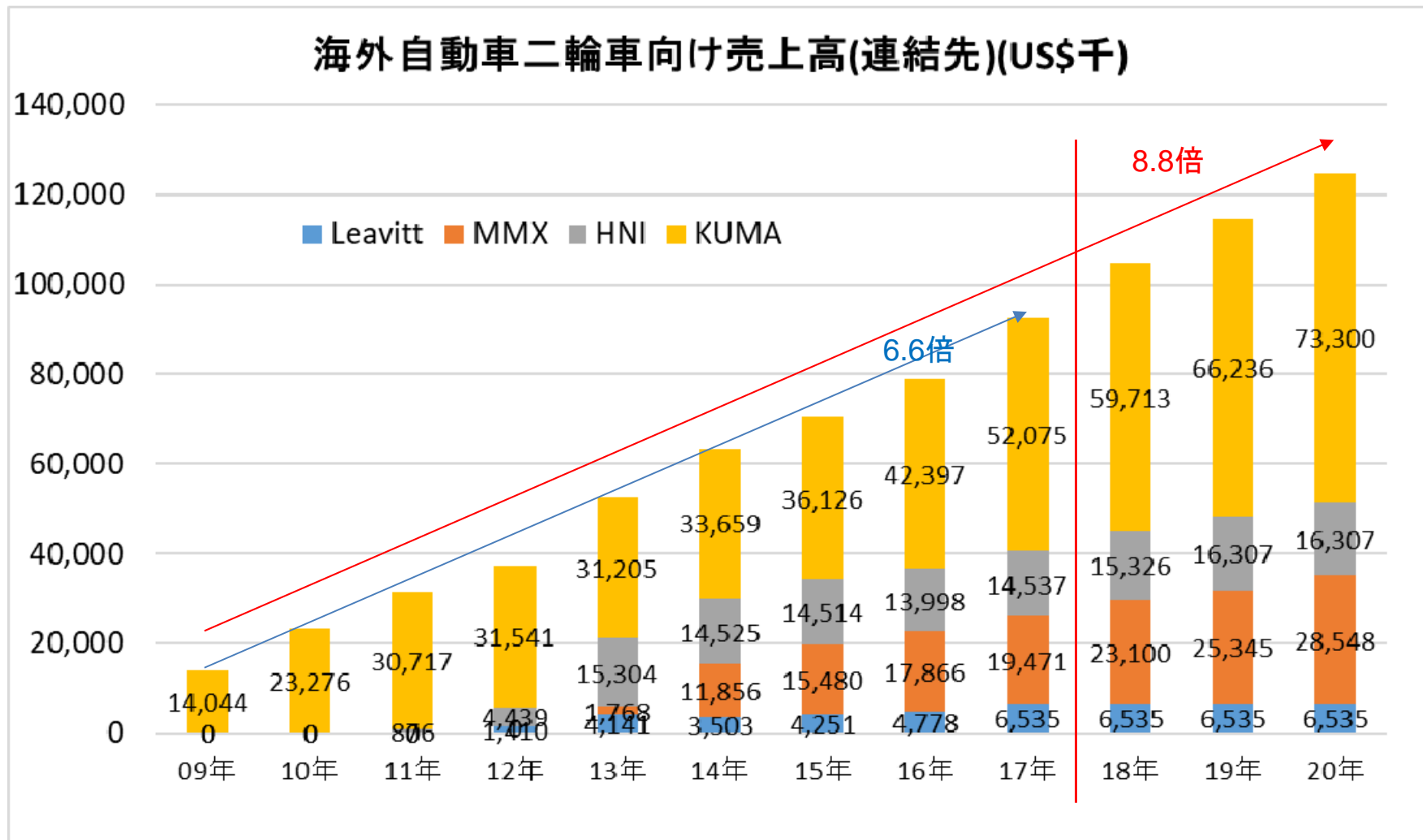


売上高：海外での販売数量の拡大、国内外での販売価格上昇による売上高増加

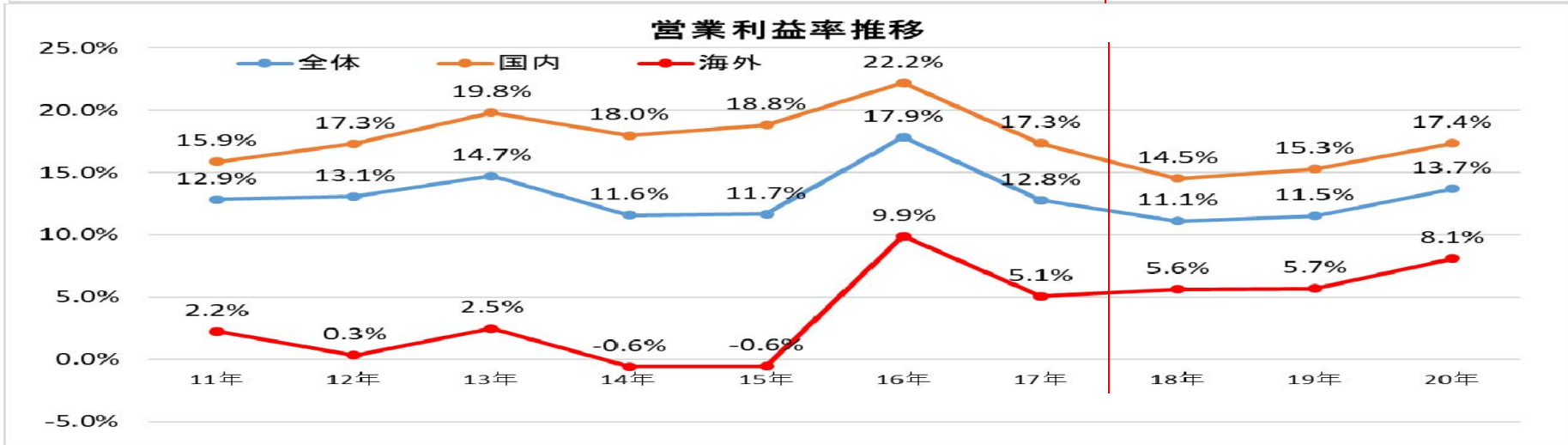
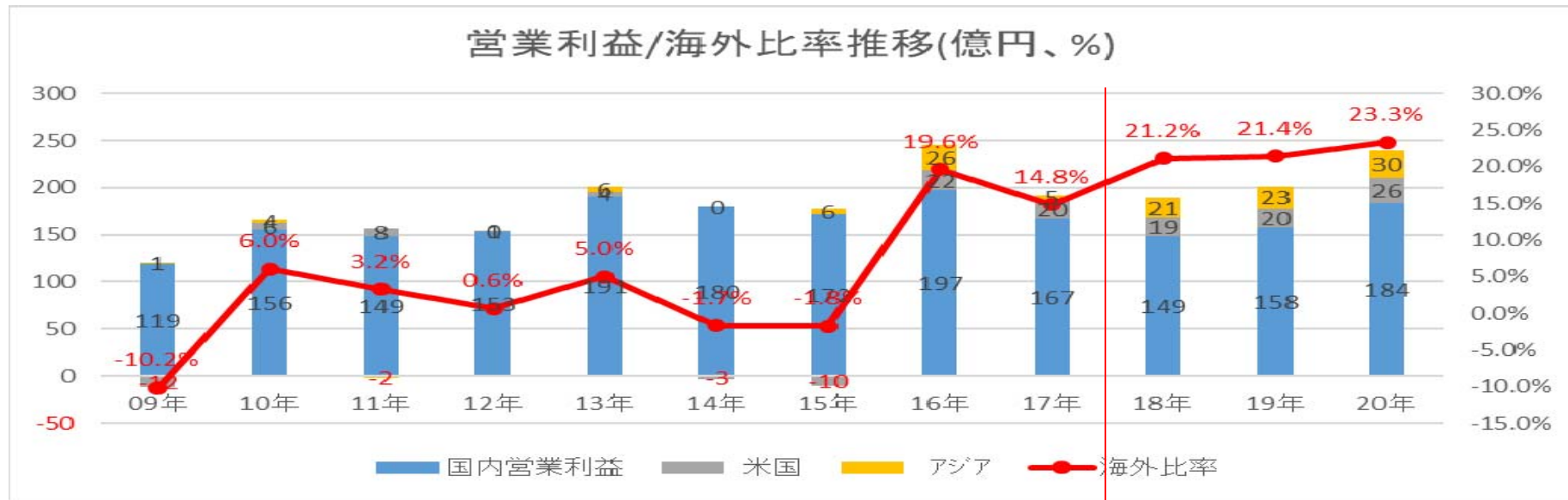
09年以降の海外建材関連売上高の増加推移



09年以降の海外自動車二輪車関連売上高の増加推移



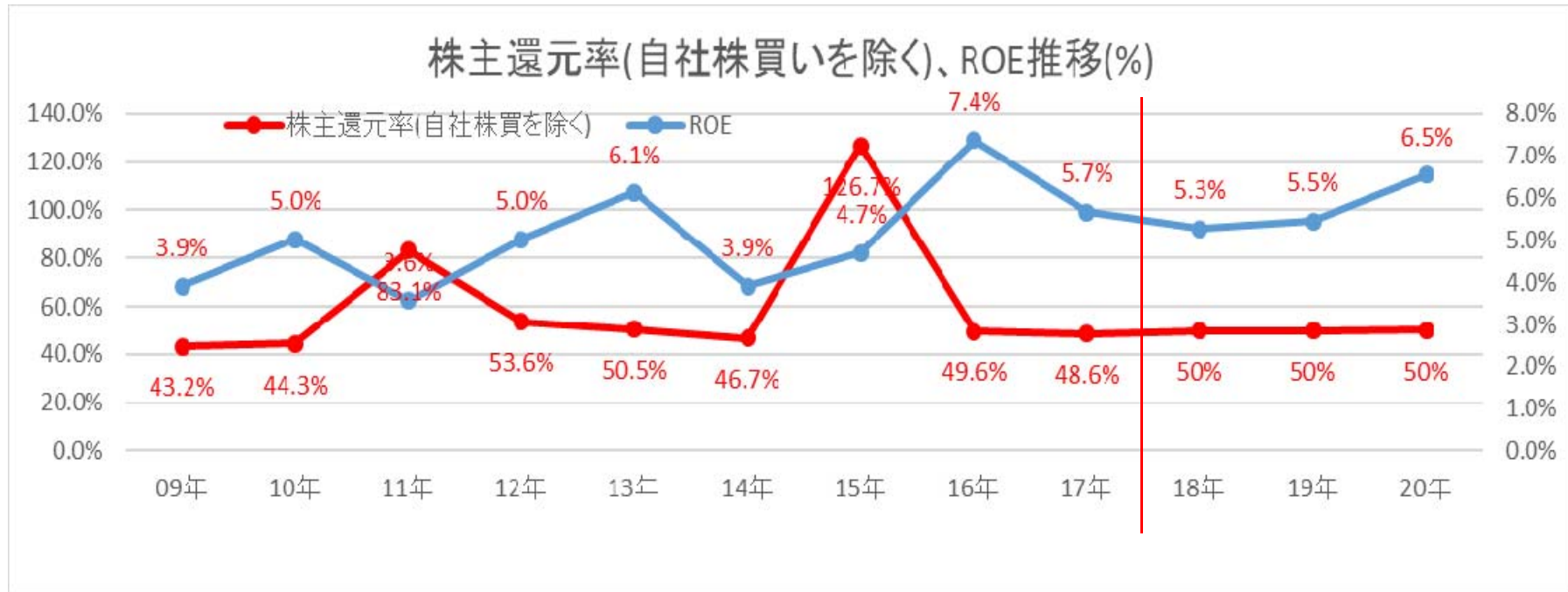
営業利益目標: 240億円、営業利益率目標: 13.7%



営業利益: 国内外でのSpread拡大による増益、海外での業容拡大による収益拡大
営業利益率: 国内での高収益維持と海外での利益率向上

ROE目標:2020年度:6.5%

株主還元率(自社株買いを除く)目標:50%以上



社会還元目標:配当実施後の単体純利益の0.5%程度
(30百万円/年)を国内外の地域社会の文化、
教育、医療、スポーツ、環境保護活動等に提供

Ⅱ-3 第5次中期経営計画の 主要施策

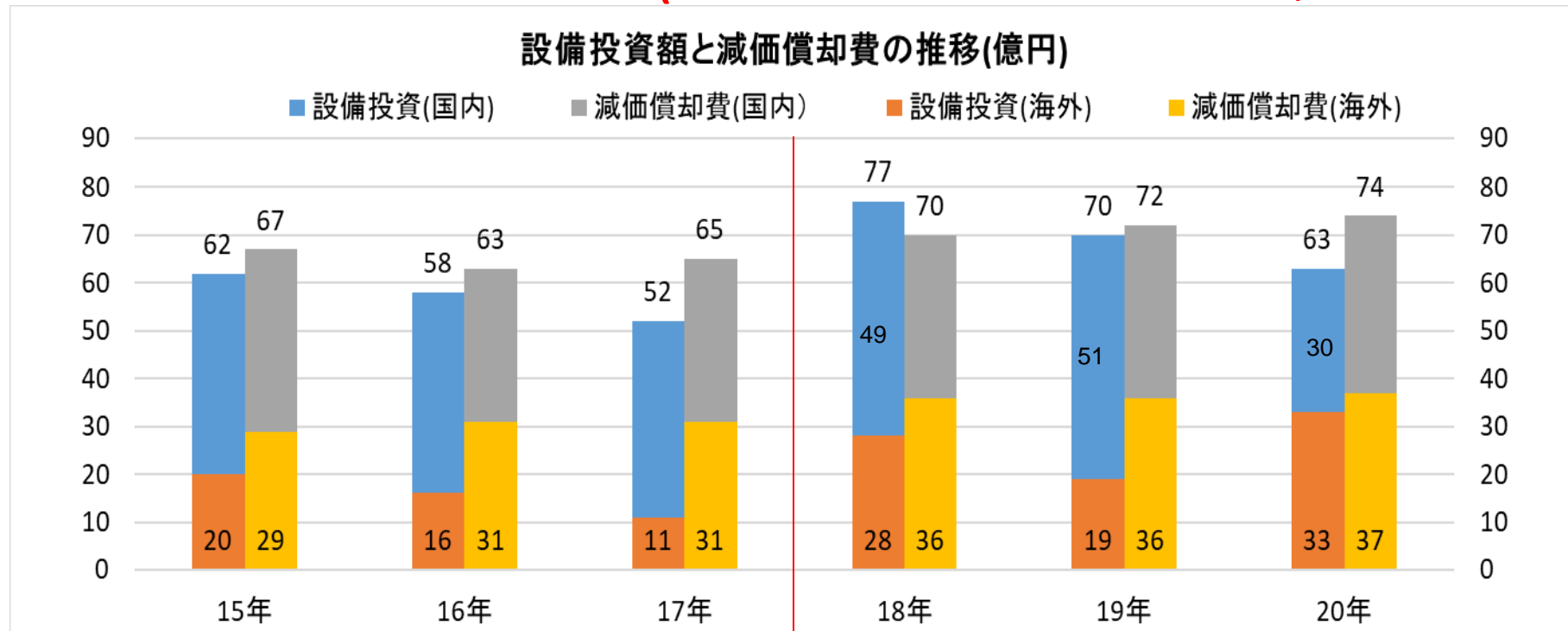
主要施策①

1.国内での取り組み

- ①高収益体質の維持、営業力の更なる強化
- ②人手不足時代への対応と生産性の向上
 - IoTやAIを活用した生産、事務の効率化
生産ラインのIoT化、AIを活用した経理人事総務用業務ソフトの導入
 - 設備更新、採用方針や「働き方」の見直し
有給休暇の取得促進、時間外労働の削減
 - 女性人材、外国人材の活用

今後3年間の設備投資計画

(国内:130億、海外:80億円)



主要設備投資計画

- ・国内: 堺: 変電設備更新・SRの更新、東京: スリッター更新、詫間: 圧延ラインの更新、名古屋: 6"ミル精整の更新/細径管ミルの新設、丸一鋼販: 営業拠点の倉庫の拡充等
- ・海外: 米国3社: 2"ラインの更新/新設、MAC: 倉庫建設、MOST: 建屋増設
MMX及びSUNSCO(HNI): 建屋増設、KUMA: 生産能力増強、
フィリピンMPST: 新工場建設、SUNSCO(HCM): 冷延設備の増強等

主要施策②

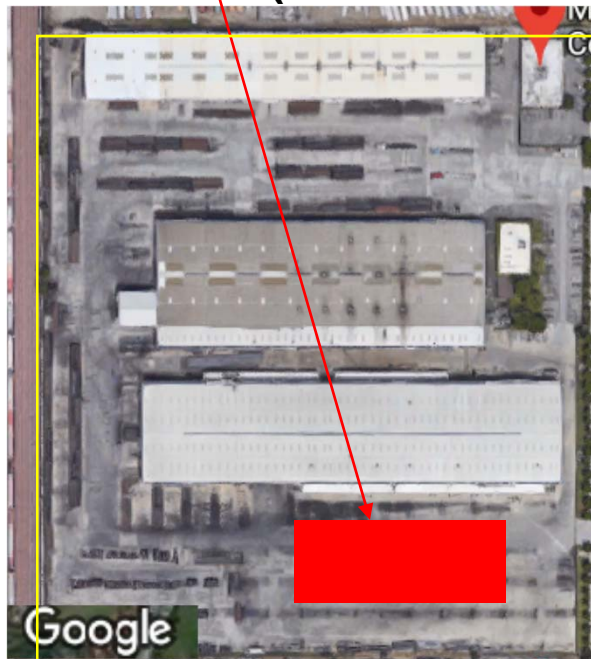
2) 海外での取り組み

- ① 米国3社：新設・更新設備の活用、販売力の一層の強化による業容の拡大
 Leavitt/MAC：小径パイプの品質と生産性の向上
 MOST：小径パイプの製造販売開始、品揃えの拡大
- ② SUNSCO(HCM)：黒字化定着が海外事業の最大の課題
 不採算業務の見直し、輸出相手国の貿易政策に影響されないパイプを中心とした国内営業力の強化、設備稼働率/歩留りの改善と間接部門の人員効率化によるコスト削減
 ⇒ 黒字化の定着
- ③ 自動車/二輪車関連：各国での生産拡大に対応した設備投資の実施と営業力の強化
- ④ 優秀な現地人材の確保と一層のレベルアップ。
 本社派遣者から現地人材への交代促進
- ⑤ 海外収益の配当/Royalty等での国内への還元強化

米国3社：更新・新設設備/工場増設を活用した 販売力の一層の強化

①Leavitt: 2“ラインの更新(2018年6月稼働予定)

②MAC: 倉庫棟の増築(4600㎡)(2018年3月完成予定)
2“ラインの更新(2018年12月完成予定)



③MOST: 工場増築(3250㎡)(2018年4月完成予定)と
2“ラインの増設(2018年10月稼働予定)

ベトナムSUNSCO(HCM)

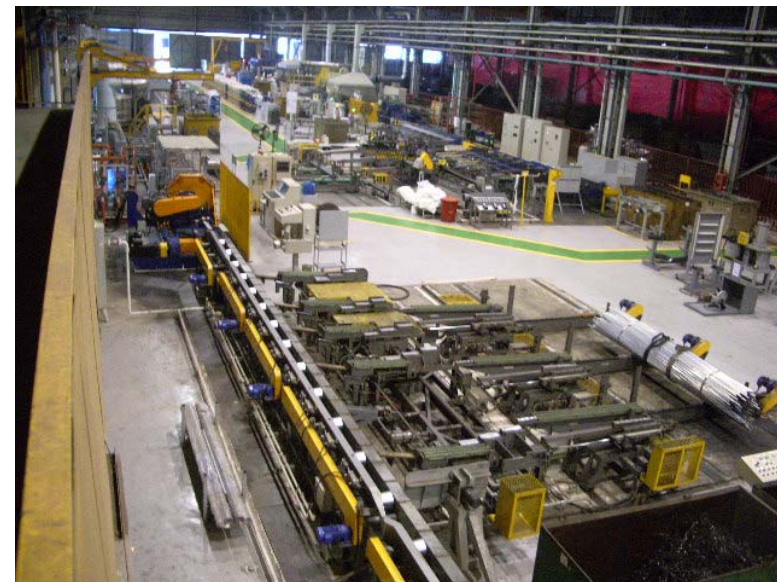
黒字化定着が海外事業の最大の課題

- ①不採算事業の見直し
- ②輸出相手国の貿易政策に影響されないパイプを中心とした国内営業力の強化
- ③設備稼働率/歩留りの改善、間接部門の人員効率化によるコスト削減

⇒黒字体質の定着



No3:2インチミル



手前:No1:4インチミル、後方:No2:2インチミル

メキシコ・ベトナム(ハノイ)・フィリピン: 自動車・二輪の生産拡大に対応した設備投資・工場増設

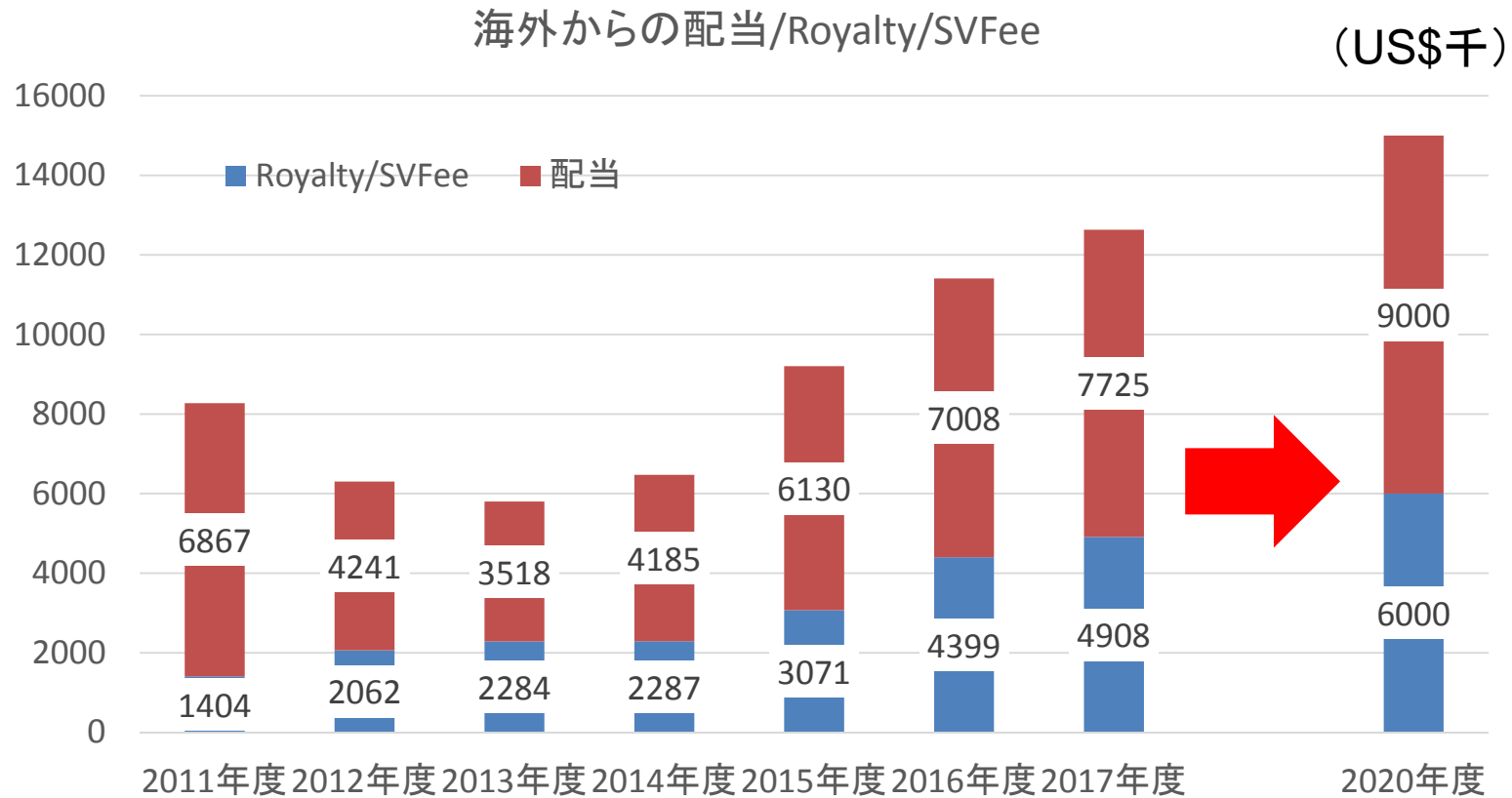
① MARUICHIMEX S.A. de C.V.社(MMX社)
隣地取得による切断工場の増設: 約3,150㎡

② SUNSCO(HNI)
工場増設: 約2,700㎡

③ フィリピン/Maruichi Philippines Steel Tube Inc.
(MPST)の立上げ: 2019年春稼働予定
工場敷地: 約30,000㎡、建屋: 約8,000㎡



海外収益の配当/Royalty等での国内への還元強化



主要施策③

3)国内外共通の取り組み

- ①労働時間及び人件費当たりの労働生産性の向上
 - ・国内工場:老朽設備の更新、IoT技術を活用した自動運転による省力化と操業・保守の最適化
 - ・国内事務部門:AI技術を組み込んだ経理・人事・総務業務への新システム導入による効率化と省力化
 - ・海外:現地人材のレベルアップによる生産性の向上

- ②より一層の環境への配慮、エネルギー効率の向上、安全への対応強化
(照明のLED化による消費電力の削減、ノンクロム化等)

- ③国内外でのM&Aを含めた事業投資の積極的な検討

主要施策④

4) 株主重視政策及び社会貢献方針の堅持

① 高い配当性向の維持

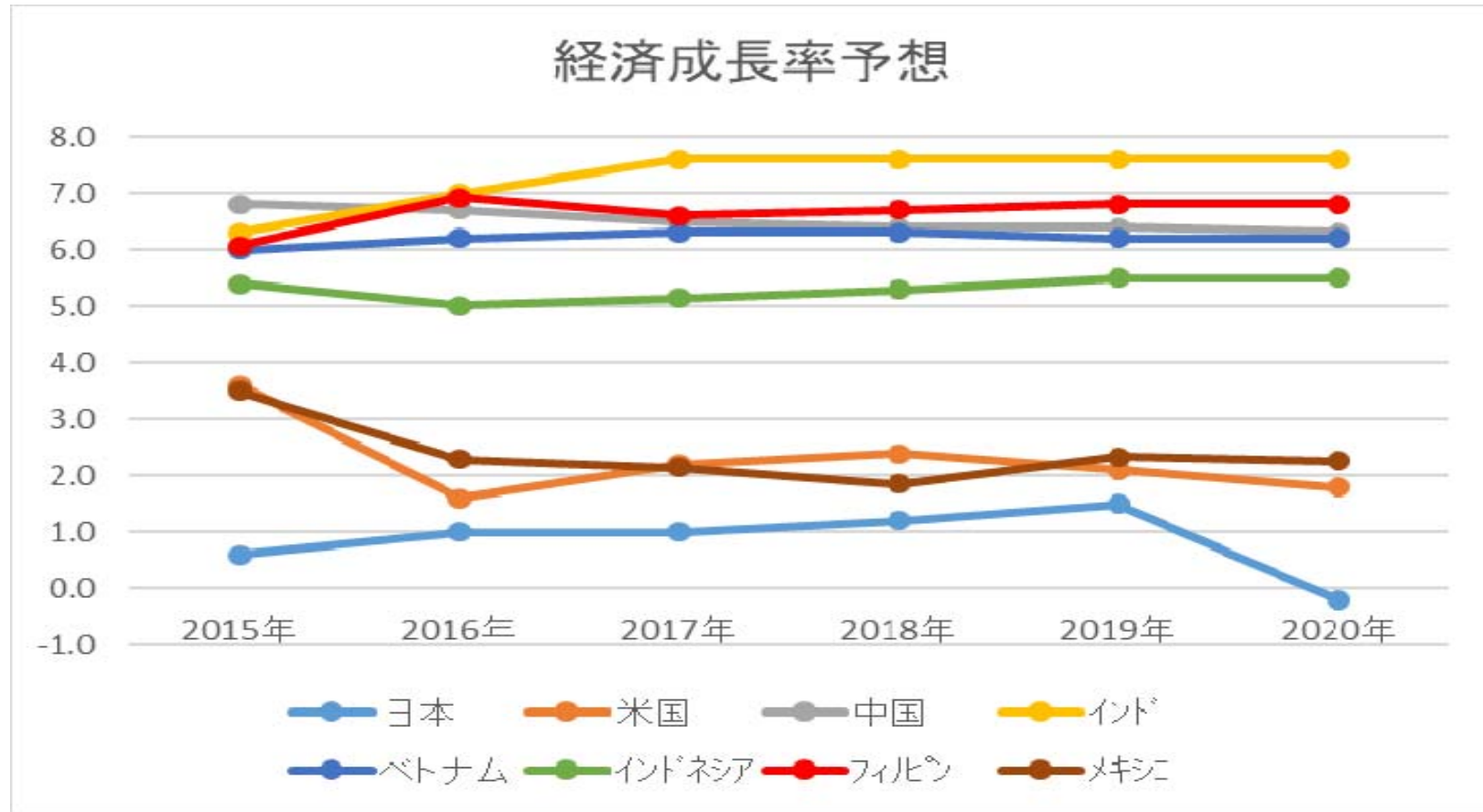
⇒「単体経常利益×(1-法人実効税率)×50%」の配当方針の継続
 法人実効税率引下げ効果を配当でも還元
 最低配当額は引き続き50円とする

② 社会貢献: 配当実施後の単体純利益の0.5%程度の社会貢献支出の継続

- ・国内: 文化芸術支援、スポーツ振興、医療教育、自然環境保護分野への貢献の継続
- ・海外/新興国: 貧困撲滅、健康医療、教育振興への貢献強化
 (ベトナム:「アジア失明予防の会」への支援、
 インド: 貧困地区の高校生への奨学金支給、
 ビジネス拡大による雇用の創出)

Ⅲ (参考資料)当社グループを取り巻く経営環境

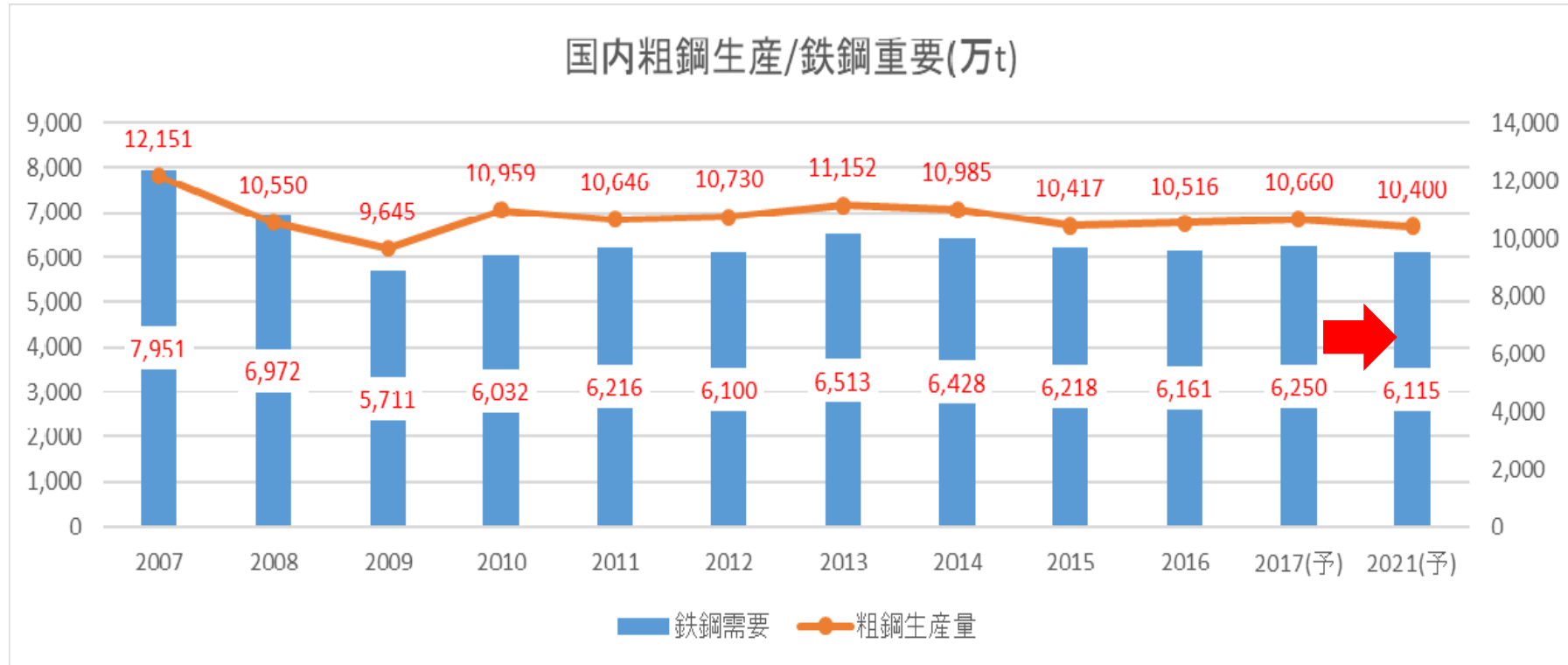
①世界各国の経済成長予測



(出所:IMF等の予想をもとに作成)

米国、新興国は引き続き比較的高い成長率を維持
 日本は、緩やかな回復(但し、2020年は消費税増税の影響)

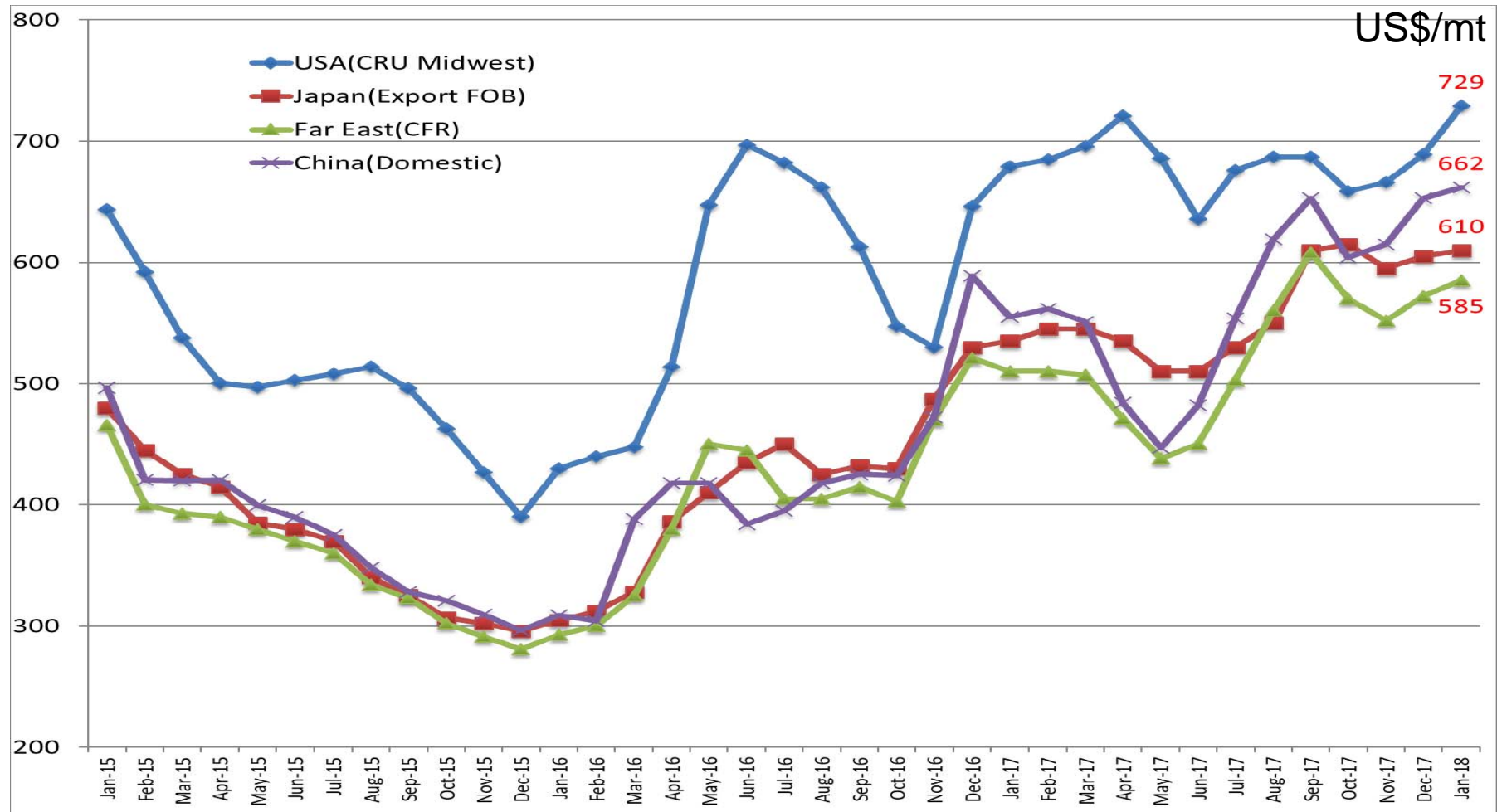
②国内鉄鋼需要の推移



(出所:鉄鋼連盟等の資料により作成
2021年予想:みずほ銀行資料)

国内鉄鋼需要は、長期的には徐々に減少

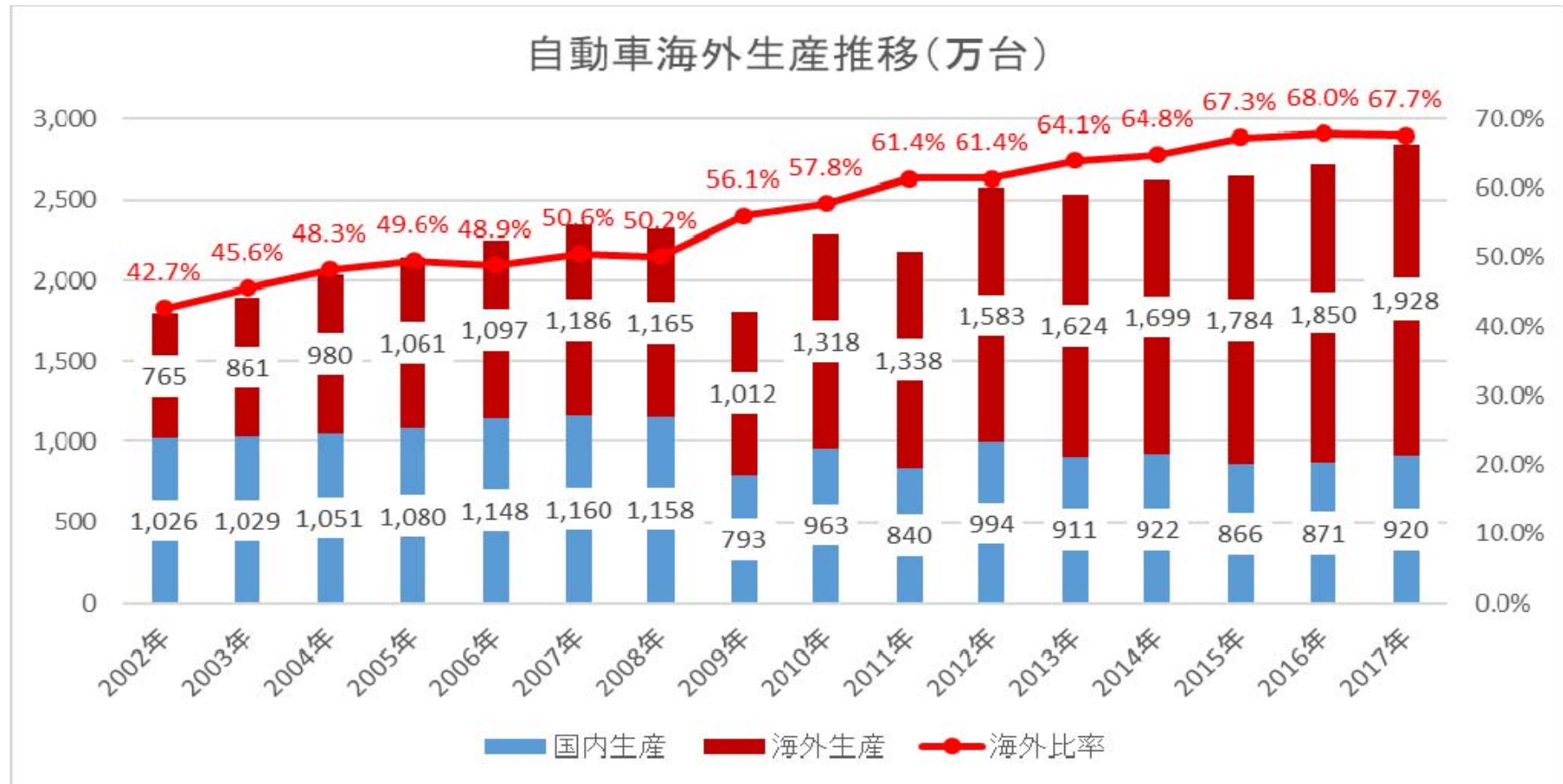
③鉄鋼国際市況動向



(出所: CRU Index資料より作成)

中国の鉄鋼価格の上昇を受け、世界的に鉄鋼価格は上昇

④ 日系自動車メーカーの海外生産シフト



海外生産数量は、2009年以降約2倍へ

(出所: 自工連資料等により作成)



丸一鋼管株式会社

注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。